

4 SEASONS' LEGACY

レガシ国内生産累計100万台

1989年の誕生以来、つねに日本のワゴンシーンをリードしてきたレガシは、おかげさまで今年1月、国内生産累計100万台を突破しました。さらに日本のドライバーの喜ばれに愛される、グランドツーリングをめざして、これからもレガシにあなたがかいて支援をお願いいたします。



日本には、レガシがある。

Active Driving, Active Safety
SUBARU



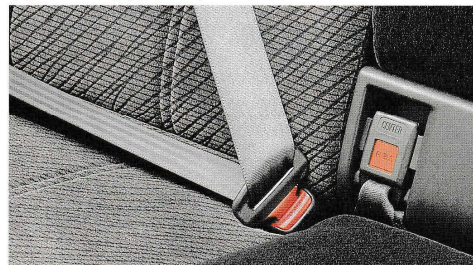
そして、細かいけれど、 実にLEGACYらしい装備たち。

剛性に大きく貢献するリヤドア キャッチャー構造を採用



リヤホイールアーチ部に設けたピンとドア下部のラッチによってドアを支え、側面衝突によりドアが車内にめり込むのを防ぐサイドインパクトバーの補強を活かすシステムだ。これが車体の剛性アップにも貢献している。

リヤシートベルト自立式バックル^(2名分)。 しかもチャイルドシート対応機構付き に、LEGACYの安全に対する考え 方がよく現れている。(自立式バックルはワゴンのみ)

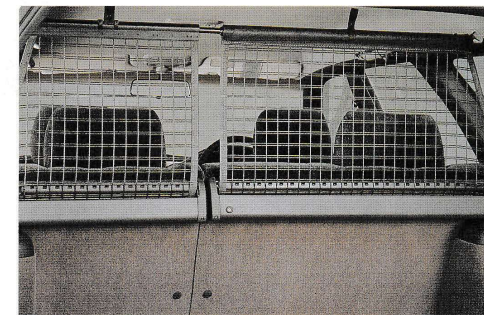


後席のシートベルトバックルに自立式を採用。シートベルトを装着しやすく、シートアレンジ後もちゃんと元の位置にあるようにしている。しかもALR(オートマチック・ロック・リトラクター)付きだから、全部引き出してしまうと収納する方向にしか動かない。途中で引っぱり出そうと思っても動かないから、シートベルトで固定するタイプのチャイルドシートをがっちり固定できる。数ある日本車の中でも、LEGACYはかなり早い時期にこの機構を採用した。

イグニッションキー連動ライトオフ

ライトスイッチがONでも、イグニッションキーをオフにするとライトも消える。エンジンがかかればライトがつき、エンジンを切れば消えるから消し忘れがない。北欧車などではよくある装備だが、日本車ではSUBARUだけだ。

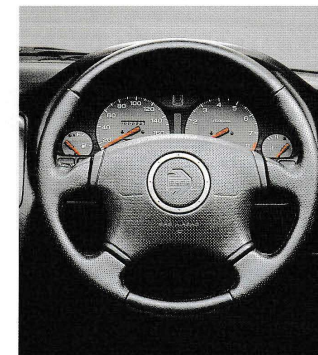
ヨーロッパのワゴンには定番の カーゴネット装着^(GT-B、GT、250T、250T-B)



リヤシートバックレストに内蔵し、カーゴスペースの変化に応じてセットできるスグレモノだ。カーゴルームの荷物から乗員を守るという意味でも、大切なアイテムだ。

これだけコンパクトで美しい、エア バッグ内蔵ステアリング・ホイールは珍しい

運転席SRSエアバッグ内蔵MOMO製本革ステアリングホイール(GT-B、250T-B、RS、GT、250T、TSTypeR)



エアバッグ収納部分が盛り上がり、色が違って見えたりするモノが多い中で、コンパクトさ、美しさは群を抜いている。実は、エアバッグの重量と取付バランスは操縦性に大きな影響を与える。重量のあるエアバッグをどこに内蔵するか。例えば重心がズレているとハンドルを切っ

ていったときに手応えが違ってきってしまう。内蔵する位置によってバランスが悪くなってしまう。LEGACYのエアバッグ内蔵ステアリング・ホイールは、見た目の美しさだけでなく、最適な重さ、最適なレイアウトになっているから、操縦性に影響が出ない。

FIND OUT
THE
LEGACY